

単に名所旧跡を巡るだけでなく、市民ガイドの案内や趣向を凝らしたマップなどをもとに「まち」を歩き、その隠れた魅力を楽しむ観光として「まち歩き観光」に人気が集まっています。

まち歩き観光が全国に広まったきっかけには、2006年に長崎市で開催された「長崎さるく博'06」の成功があります。「さるく」は長崎弁で「ぶらぶら歩く」という意味で、212日間で延べ723万人が長崎市内を巡りました。イベント終了後も同市はまち歩き観光に取り組み続け、減少傾向にあった観光客数が増加に転じるなど、「長崎さるく」という新しい観光のスタイルを確立しています。

まち歩き観光の特徴には(図表1)、地元住民などから語られる「まち」の魅力を知ること、参加者が単にツアーを楽しむだけでなく、知的好奇心も満たせることが挙げられます。このほか、市外・県外・海外などからの来訪者にとどまらず、その「まち」に住む人がツアーを楽しめることもまち歩き観光が持つ強みの1つです。さらに、まち歩き観光が生み出す効果をみると(図表2)、「低予算での集客」を始めとする観光としてのメリットもさることながら、ボランティアガイドなど市民の参画による「市民協働の機会創出」や「郷土愛の醸成」、地域と人の関係性を見直す「新しいまちづくり」を中心に、地域社会にも様々な効果をもたらすと考えられます。

東海地域におけるまち歩き観光の取り組みの1つとして、「大ナゴヤツアーズ実行委員会」(住所：名古屋市)の手掛ける体験プログラムツアーがあります(前掲図表1)。大ナゴヤツアーズでは名古屋から車で2時間圏内のエリアを対象に、農業、漁業、ものづくり、歴史、文化、食、自然など、当地に眠る新たな観光資源をツアーとして提供しています。最大の魅力はその分野に精通した「ガイドさん」の存在であり、そのバラエティに富んだ魅力的な案内が人気の一因となっています。

まち歩き観光はテレビ番組の影響などから広く関心が高まっており、これまで観光資源に乏しいと考えられていた地域でも、「まち」が持つ魅力の深堀りによって新たな観光需要の発生が期待できる分野です。さらに、市民活動としての一面もあり、市民が地域課題・行政課題の解決に携わるきっかけになると考えられます。こうした点から、今後も市民主導・市民主体による取組を中心に、まち歩き観光が観光・市民活動の双方から地域の活性化に資することが期待されます。

三十三総研 調査部 研究員 畑中 純一

図表1 まち歩き観光の特徴

まち歩き観光の魅力

ガイドによる案内やオリジナルのマップをもとにコースを歩き、「体験」「学び」などの形で「まち」を楽しむことができる

地元住民やその道のプロなどがガイドとなり、生の声や豊富な知識により「まち」の魅力が語られる

市外・県外・海外からの来訪者だけでなく、その「まち」に住む人もまち歩き観光を楽しむことができる

(資料)三十三総研作成

大ナゴヤツアーズが手掛けるツアーの例

- ぶらり渋ビル散歩
～日常に潜む渋いビルのデザインの魅力や歴史を発見～
- 身体も心も喜ぶ「田舎のごちそう」満腹ツアー
～ばあちゃん自慢の五平餅づくり体験と寄合宴会まで～
- 名古屋の喫茶店焙煎士と楽しむ、魅惑のブレンドコーヒー
～世界に1つだけのオリジナルブレンドコーヒー作りまで～
- モザイクタイルに恋して。～多治見市モザイクタイルミュージアム見学からタイルクラフトまでじっくり堪能～
- 染職人と染め替え、お気に入りの服を漆黒の黒へ
～伝統工芸、名古屋黒紋付染の世界～

(資料)大ナゴヤツアーズウェブサイト

図表2 まち歩き観光が生み出す効果

開催側の効果

① 都市観光としての集客効果

歴史や風習など、「まち」が持つ隠れた魅力を掘り起こすことで、知的好奇心の旺盛な観光客を引き込む

② 低費用での開催

施設や過剰なイベントは不要であり、「まち歩き」という仕掛けを維持するための最小限度の組織と費用があれば良い

地域社会にとっての効果

③ 市民協働の機会創出

「まち歩き」の企画やマップ製作、ガイドなどの形で、市民が地域や自治体の課題解決に携わる機会を創出する

④ 市民の郷土愛の醸成

ボランティアとして「まち歩き」に携わったり、あらためて自分の「まち」の魅力を知ること、郷土愛が育まれる

⑤ 「新しいまちづくり」の実現

その「まち」に関わる人々が「まち」とより良い関係を築くことで、都市機能の向上とは異なる「住みやすさ」が実現する

(資料)茶谷幸治「まち歩き」をしかける コミュニティ・ツーリズムの手ほどき」などを参考に三十三総研作成